

綱渡り見世物侍 (1955)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 83分

初公開日 1955/09/06

【解説】

陣出達朗が雑誌「小説の泉」に発表した小説『道化獅子』を、「忍術児雷也」の賀集院太郎が脚色し「次男坊判官」の加戸敏が監督した。「銭形平次捕物控 幽霊大名」に引き続き、市川雷蔵が一人二役をこなしている。

阿蘭陀座で手裏剣投げを披露する力太郎とお小夜は江戸中の人気を集めていた。力太郎はお小夜の病父の借金を返済するべく、仕事に精を出していた。借金返済のため越後屋へ向かっていた力太郎は、浪人たちに取り囲まれたスリのお蝶を助けたことから、浪人たちに追われる羽目になってしまう。浪人たちの追跡をかわした力太郎だったが、奥州二本松藩の家老が率いる家臣たちにつかまり、丹波家上屋敷へ連れ込まれてしまう。実は力太郎は、藩主の嫡子で失踪中の鉄之丞と瓜二つだったのだ。

【クレジット】

監督 加戸敏

製作 酒井箴

企画 高桑義生

原作 陣出達朗

脚本 賀集院太郎

撮影 竹村康和

美術 太田誠一

音楽 高橋半

出演 市川雷蔵

水原真知子

阿井美千子

峰幸子

益田キートン

清川虹子